

# ユピテル工業株式会社 YUPITERU

## 特定小電力トランシーバー CT-560

### 取扱説明書／保証書

このたびは、ユピテルの特定小電力トランシーバーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。  
また本機は電波法第四条「技術基準適合証明を受けた無線局」および電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当するトランシーバーです。

**注意**  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

品番	CT-560	S/N No.	
お買い上げの日			

本書は、本機の修理や動作不良を、契約するものではありません。  
保証期間中に、異常な使用状態で、故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

販売店

上記に記入または捺印のない場合は、必ず販売店発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名などを証明するものを、ご持参ください。

ユピテル工業株式会社 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

### 〈無料修理規定〉

保証期間	対象部分	本体	お買い上げの日から1年
お客様住所			
お名前			

- 上記記載の保証期間内に、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合は、無料修理いたします。
- 保証期間内に無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居ご贈答品などで本保証書に記載してあるお買い上げの販売店に修理が依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
  - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造などによる故障および損傷
  - (ロ) お買い上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷
  - (ニ) 特殊な条件下での結露や汚れなどによる故障および損傷
  - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
  - (ヘ) 消耗部品に類するもの交換
  - (ト) お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金
  - (チ) 本書のご提示がない場合
  - (リ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は、日本国内のみにおいて有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

\*この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の点は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

# 安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。  
また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

**絵表示について**  

- △ 記号は注意を促す内容であることを告げるものです。
- ⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
- ⊙ 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

**警告** 警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う可能性があります。

- 穴やすき間にビンや針金などの金属を入れない  
中に入った場合は、すぐに使用を中止してください。そのまま使用すると火災や故障の原因となります。
- 万一、キャビネットを破損した場合は、すぐに使用を中止する  
そのまま使用すると火災や故障の原因となります。
- 雷が鳴り出したら使用を中止する  
落雷の恐れがあります。
- サービスマン以外の人は、絶対に分解したり、改造したり、修理しない  
火災や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。また、本機を分解したり改造することは電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。
- 煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない  
発火の恐れがあります。すぐに使用を中止して、販売店に修理をご依頼ください。
- 運転中は絶対に操作しない  
むき貝運転は重大事故の原因となります。車を安全なところに止めてからご使用ください。
- 旅客用飛行機の中では使用しない  
飛行機の計器に異常を与える可能性があります。絶対にお止めください。
- 医用電気機器の近くでは使用しない  
植え込み型心臓ペースメーカーや、その他の医用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。医用電気機器の近くでは電源を切り、絶対に使用しないでください。

# 故障かな?と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。

症状	確認内容
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>乾電池が消耗していませんか?</li> <li>乾電池が正しく入っていますか?</li> </ul>
△マボタンがはたらかない	<ul style="list-style-type: none"> <li>キーロック機能がはたらいていませんか?</li> </ul>
相手と交信できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンテナを立てていますか?</li> <li>相手とチャンネルが違っていますか?</li> <li>相手と離れすぎいませんか?</li> </ul>
送信できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>連続送信時間終了後2秒以上経過していますか?</li> <li>電波を受信していませんか?</li> </ul>
受信時に異音がる	<ul style="list-style-type: none"> <li>乾電池が消耗していませんか?</li> </ul>
確認音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>確認音を消していませんか?</li> </ul>
チームモードを使った交信ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>全員がチームモードに設定されていますか?</li> </ul>
オートコールモードで呼び出しができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>全員がオートコールモードに設定されていますか?</li> </ul>
「ザー」という音が消えない	<ul style="list-style-type: none"> <li>MONIボタンが1度押しただまになっていますか?</li> <li>他の無線機などの影響を受けていませんか?</li> </ul>

**注意** 注意を無視した取り扱いをすると、使用者が傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

- 直射日光の当たる場所、湿度の高い場所、ホコリや油煙の多い場所に置かない  
火災や故障の原因となります。
- 指定以外の電池は使用しない、また、古い電池を混ぜて使用しない  
破裂や液漏れにより、火災やケガ、周囲を汚損する原因となります。
- 電池を入れるときは、極性に注意し、指示通りに入れる  
間違えて入れると、破裂や液漏れにより、火災やケガ、周囲を汚損する原因となります。
- 使用済みの電池を火中に投げ入れない  
爆発して火災や火傷の原因となります。
- 長期間ご使用にならないときは、中の電池を抜く  
液漏れにより、周囲を汚損する原因となります。
- イヤホンやヘッドセットで使用するとき、音量に注意する  
突然の音で耳を痛める恐れがあります。

### 取り扱いについて

- 本体裏面の技術基準適合証明ラベルや、定格ラベルをはがして使用することは、電波法で禁止されています。
- 本機は、レジャー用途、業務用途で使用できますが、過酷な使用条件に耐える特別な構造を施したものではありません。
- アンテナは無理に折り曲げないでください。
- 本機は防滴仕様(JIS防滴Ⅱ形)です。水の中などには入れないでください。
- 本機が汚れたときは、柔らかい布でふいてください。ポリエスチルなどの静電気の起こりやすいものや、ベンジンやシンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。

### 使用上の制限

- 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、受けたりすることがあります。

### 交信について

- 特定小電力トランシーバーでは、公共性を保つため、一回の送信時間が制限されています。
- 連続送信時間は、「電波法」に定められている3分以内です。連続送信時間を超えると、自動的に送信が停止し、2秒以上経過しないと再送信できません。
- 連続送信できる残り時間が約10秒以下になったときは“ピピッ”と鳴ります。
- 混信(二重送信)を防ぐため、一定以上の強さの電波を受信しているチャンネルでは、送信できません。
- 送信できない場合は、“ピピピ”と鳴ります。

# アフターサービスについて

- 保証書**  
保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りいただき、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管ください。
- 保証期間**  
お買い上げの日から1年間です。
- 修理を依頼されるとき**  
「故障かな?と思ったら」の点検をしていただいても、なお異常があるときは
- 保証期間中のとき**  
恐れ入りますが、お買い上げの販売店まで保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定にしたがって修理いたします。
- 保証期間が過ぎているとき**  
お買い上げの販売店にまずご相談ください。お客様のご要望により有料修理いたします。  
なお、故障状況は、なるべく詳しくご連絡ください。

### ユピテルで相談窓口一覧

お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

### 【取付、取扱方法に関するお問い合わせ】

受付時間 10:00~18:00 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター **TEL. (0564)45-5599**

### 【取扱方法、修理依頼、販売店の紹介に関するお問い合わせ】

受付時間 9:00~17:30 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

地区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL. (011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北9条西18丁目35-100 エプリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL. (022)284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区郡野4-8-6 第2番倉和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部 TEL. (03)3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・福井・長野	名古屋営業所・サービス部 TEL. (052)769-1601 〒465-0092 愛知県名古屋市名東区台3-1-18
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部 TEL. (06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部 TEL. (082)230-1711 〒731-0135 広島県広島市安佐南区長束1丁目34-22-102
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL. (092)552-5351 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19

- 上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、市外番号などを確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

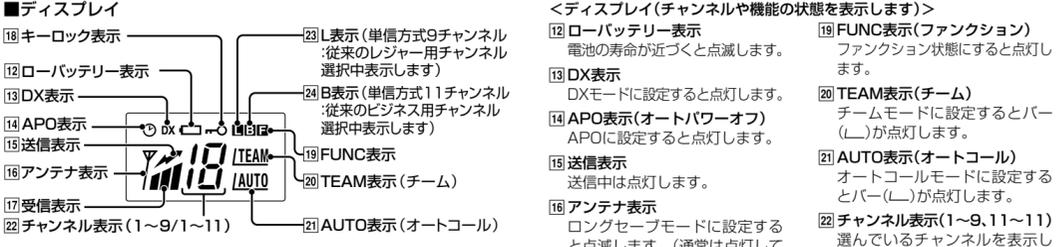
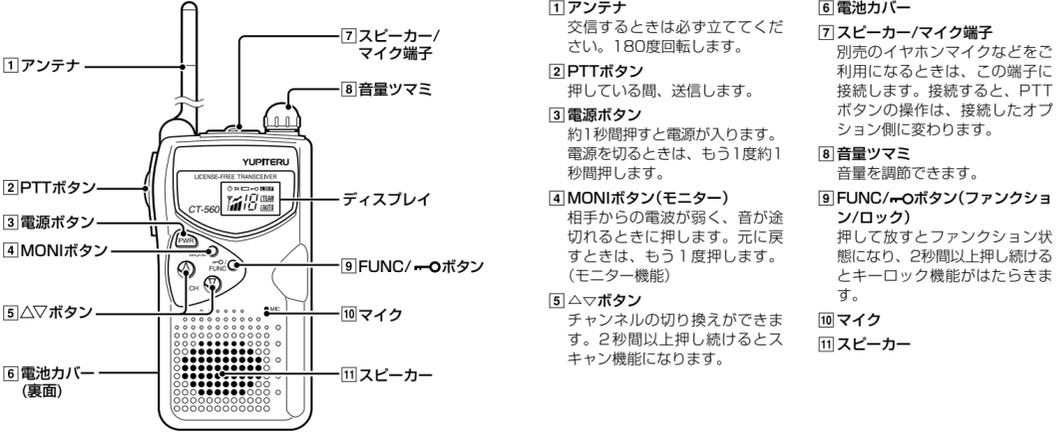
# 仕様

- 送信周波数: 422.2000~422.3000MHz (12.5kHzステップで9チャンネル) 422.0500~422.1750MHz (12.5kHzステップで11チャンネル)

- 電波型式: F3E
- 連続送信時間: 3分以内
- 送信出力: 10mW
- 受信感度: -9dBμV以下(DX)(12dB SINAD)
- 低周波出力: 90mW以上(4.5V、8Ω、THD5%時)
- 定格電圧: 4.5V(単3形乾電池3本)
- 消費電流  
待機時(バッテリーセーブ時): 通常…約18mA ロングモード…約13mA  
送信時: 約53mA  
受信時: 約80mA(90mW出力時)
- 動作温度範囲: -10℃~+50℃
- 防滴の種類: JIS C0920防滴Ⅱ形
- 寸法: 56(W)×109(H)×28(D)mm(突起部含まず)
- 重量: 約185g(電池、ベルトクリップ含む)
- 付属品: ベルトクリップ(1)、取扱説明書/保証書(1)

\*仕様や外觀などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

# 各部の名称とはたらき



# 電源について

- 市販の単3形乾電池をお買い求めください。
- 電池カバーを開ける
  - ⊕と⊖の間違えないように電池を入れる
  - 電池カバーを閉める
- 消耗した電池を使用していると、受信時に異音が生じることがあります。



**電池の交換時期**  
ローバッテリー表示(□)が点滅したら、3本とも新しい電池に交換してください。

**電池寿命の目安(アルカリ電池使用時)**  
一般使用時…約65時間(送信30秒間、受信30秒間、待ち受け4分間を繰り返したとき) 待ち受け時…約100時間  
\*電池寿命は使用する条件によって異なります。とくに寒冷地では、電池寿命が短くなります。

# オプションについて

- イヤホンマイク(HD-100) 標準価格3,200円(税別)
- PTT付きヘッドセット(HD-410) 標準価格4,900円(税別)
- VOX/PTT付きヘッドセット(HD-410) 標準価格6,900円(税別)

話すとき自動的に送信になるVOX回路付きのハンズフリーヘッドセットです。

オプションのご注文は、お買い上げの販売店にお申しつけください。なお、ご不明な点は、最寄りの弊社営業所・サービス部(本書記載)にお問い合わせください。

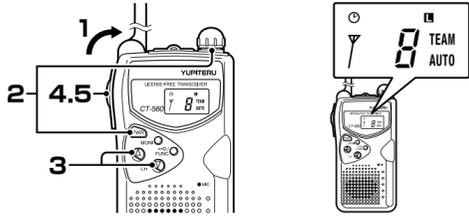
**注意**  
イヤホンやヘッドセットを使うときは、音量に十分ご注意ください。突然の大きな音で耳を痛める恐れがあります。

## 交信のしかた <CT-560同士での交信>

本機は、通常の交信の他に、本機で交信する仲間だけで使える2つの便利な交信モードがあります。

### 通常の交信

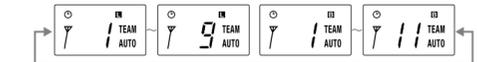
あらかじめ交信する相手と同じチャンネル(周波数)に設定し、送信と受信を交互に行います。チャンネルが一致しないと交信できません。



#### 交信の準備をする

1. アンテナを立てる
2. 電源ボタンを約1.5秒間押しして電源を入れ、音量ツマミを中間の位置にする
3. △または▽ボタンを押して、交信する相手と同じチャンネル(■1～■9 ■1～■11)に合わせる

△または▽ボタンを押すごとにチャンネルが切り替わりディスプレイに表示されます。



△または▽ボタンを2秒間以上押し続けると、スキャン機能がはたらきます。

#### 送信するには

4. PTTボタンを押しながら、マイクに向かって話す

PTTボタンを押している間は送信状態となり、送信表示(▲)が点灯します。

#### 受信するには

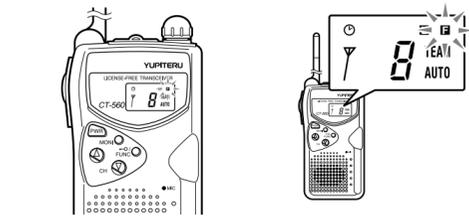
5. PTTボタンから指を放して待つ

- 相手から送信があると、受信表示(■)が点灯し声が聞こえます。音量を調節してください。
- 相手の声が途切れるときは、MONIボタンを押してください。聞き取りやすくなる場合があります。(モニター機能)
- 元に戻すときは、もう1度MONIボタンを押します。 ※通常はモニター機能を解除して使います。

### いろいろな機能の設定や解除(ファンクション状態)

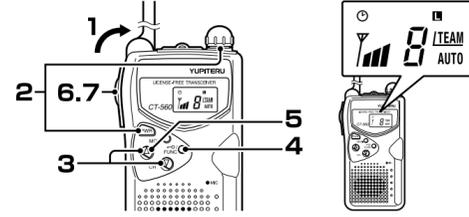
本機のFUNC/■ボタンを押して放すと、約3秒間のファンクション状態になり、■が点灯します。いろいろな機能の設定や解除は、このファンクション状態(■点灯中)から続けて操作します。

- ※2秒間以上、FUNC/■ボタンを押し続けると、キーロックされます。
- ※約3秒間以内に次の操作をしないと、ファンクション状態は解除されます。



### チームモードを使った交信

本機同士の交信では、チームモードにすると、同じモードにしている相手の声だけを受信することができます。



#### 交信の準備をする(交信する全員が設定してください)

1. アンテナを立てる
2. 電源ボタンを約1秒間押しして電源を入れ、音量ツマミを中間の位置にする
3. △または▽ボタンを押して、交信する相手と同じチャンネル(■1～■9 ■1～■11)に合わせる
4. ファンクション状態にする

■が点灯します。

5. ■点灯中に、△ボタンを押して、TEAM表示にバー(■)を点灯させる。

- チームモードになります。
- 手順4、5を繰り返すと、交信モードが切り換わります。

ディスプレイ表示	TEAM	AUTO	TEAM AUTO
交信モード	→ チームモード	→ オートコールモード	→ 解除(通常の交信)

#### 送信するには

6. PTTボタンを押しながら、マイクに向かって話す

- 最初に送信するときは、呼出音が約1.5秒間鳴ります。呼出音が鳴り終わったら、話し始めてください。
- ※呼出音が鳴っている間は交信できません。
- ※約8秒間以上交信がなかった場合、最初に交信するときに、呼出音が鳴ります。

#### 受信するには

7. PTTボタンから指を放して待つ

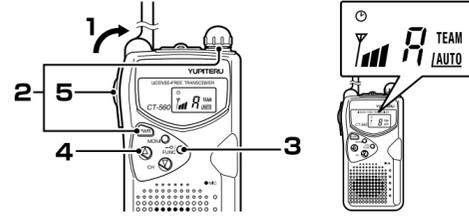
- 最初に相手から送信があると、呼出音のあとに声が聞こえます。音量を調節してください。
- ※交信内容は、同じチャンネルを使用している他のトランシーバーでも受信できます。

#### チームモードの交信終了後には

※交信終了後約8秒間は、通常と同じような交信となるため、他の同じチャンネルの声が聞こえることがあります。その交信が終わって8秒後には、聞こえなくなります。

### オートコールモードを使った交信

本機同士の交信では、オートコールモードにすると、自動的に使用できるチャンネル(空チャンネル)を選択します。



#### 交信の準備をする(交信する全員が設定してください)

1. アンテナを立てる
2. 電源ボタンを約1秒間押しして電源を入れ、音量ツマミを中間の位置にする
3. ファンクション状態にする
4. ■が点灯している間に、△ボタンを押して、AUTO表示にバー(■)を点灯させる。

■が点灯します。

- オートコールモードの待ち受け状態になります。
- チャンネル表示部に■が点灯します。
- 手順3、4を繰り返すと、交信モードが切り換わります。

ディスプレイ表示	TEAM	AUTO	TEAM AUTO
交信モード	→ チームモード	→ オートコールモード	→ 解除(通常の交信)

#### 交信するには

5. PTTボタンを押す

- 相手に呼出音を約5秒間送信(呼出音が聞こえます)したあと、空チャンネルを探し出して、選択したチャンネルで待ち受け(交信できる)状態となります。
- ※空チャンネルを探し出したあと、オートコールモードは自動的に解除されます。
- 交信は、通常と同じです。PTTボタンを押しながらマイクに向かって話します。
- ※呼出音が鳴っている間は交信できません。
- ※空チャンネルがないときは、「ビビビ」と鳴ります。オートコールモードの待ち受け状態のままとなります。

※オートコールモードを使った交信の場合、通常の交信に比べて待ち受け時の消費電流が大きくなります。

## 交信のしかた <CT-560以外の特定小電力トランシーバーとの交信>

チャンネル(周波数)を合わせることで他の単信(シンプレックス)方式の特定小電力トランシーバーとも交信できます。

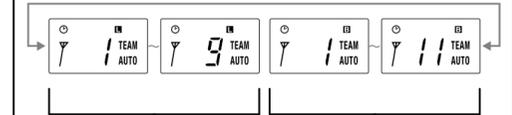
- 他の特定小電力トランシーバーと交信するときはグループモード、チームモード、オートコールモードやスクランブルモードなどメーカー独自の機能を解除して使います。

※ 弊社のCT-550(単信9チャンネル)やCT-611(単信11チャンネル)などCT-560と同じ機能を持った機種などは、通常の交信のほかチームモード、オートコールモードを使った交信ができます。

※ 復信(デュープレックス)方式のチャンネル(周波数)とは交信できません。

### 他のトランシーバーとの交信(チャンネルの合わせかた)

#### <チャンネルの区分>



単信(シンプレックス)方式9チャンネル(従来レジャー用途に割り当てられていた周波数チャンネル)タイプのトランシーバーの1～9チャンネルに相当します。

単信(シンプレックス)方式11チャンネル(従来ビジネス用途に割り当てられていた周波数チャンネル)タイプのトランシーバーの1～11チャンネルに相当します。

例1 CT-550と交信するとき

例2 CT-611と交信するとき

本機(CT-560)	CT-550	本機(CT-560)	CT-611
■ TEAM AUTO	■ TEAM AUTO	■ TEAM AUTO	GRP TEAM AUTO
			グループモードを使った交信はできません。

## 便利な機能

### DXモードについて

受信感度を上げることができます。

1. ファンクション状態にする

■が点灯します。

2. ■が点灯している間に、▽ボタンを押す

・「ビツ」と鳴り、DX表示が点灯して受信感度が上がります。

※ 受信感度を戻すときは、もう1度ファンクション状態で▽ボタンを押します。

※ DXに設定して雑音(ノイズ)などが増えた場合は、解除してください。

DXモードは、他の電波の影響が少ない場所での交信に最適です。市街地など他の電波の影響を受けやすい場所では、DXモードを解除して交信してください。

### ロングセーブモードについて

本機は、何も受信されない状態が2秒間(チームモードのときは条件により変化します)以上続くと自動的にバッテリーセーブモードがはたらき、電池の消耗を防ぎます。また、待ち受け中の電池の消耗をさらに抑えるロングセーブモードを設定することができます。(通常の100時間を140時間に延長)

1. ファンクション状態にする

■が点灯します。

2. ■が点灯している間に、MONIボタンを押す

・「ビツ」と鳴り、アンテナ表示(▲)が点滅し、ロングセーブモードになります。

※ 解除するときは、もう1度ファンクション状態でMONIボタンを押します。

※ チームモード、オートコールモード中は設定できません。

※ 電源を切っても解除されません。ただし、チームモードやオートコールモードにした場合や電池交換をしたときは解除されます。

※ 受信のとき、相手からの最初の声(約1秒間)が聞こえないことがあります。

### キーロック機能について

誤ってボタンを押して、チャンネルなどが切り換わることを防止します。

1. FUNC/■ボタンを2秒間以上押し続ける

・「ビツ」と鳴り、キーロック表示(■)が点灯し、キーロック機能がはたらきます。

※ キーロック機能を解除するときは、もう1度FUNC/■ボタンを2秒間以上押し続けます。

### 確認音について

ボタンを押したときに鳴る確認音(ビツやビボ)を、鳴らないようにすることができます。

1. FUNC/■ボタンを押しながら、電源を入れる

・確認音が鳴らなくなります。

※ 鳴るようにするときは、電源を切り、もう1度FUNC/■ボタンを押しながら、電源を入れます。

※ チームモード、オートコールモード中の呼出音はいつでも鳴ります。

#### ■確認音の種類

ビツ	・各ボタンを押したとき
ビビツ	・連続交信時間の残り時間が10秒以下になったとき ・■1チャンネルを選んだとき ・各設定を変更したとき
ビボ	・■1チャンネルを選んだとき
ビビビ	・同じチャンネルの強い電波を受信中にPTTボタンを押した場合など、送信できないとき
ボボボ	・電池の交換が必要なとき

### 呼出音について

通常の交信でも、呼出音を鳴らして相手に知らせることができます。

1. ファンクション状態にする

■が点灯します。

2. ■が点灯している間に、PTTボタンを押す

・呼出音が鳴ります。

・交信は、呼出音が鳴り終わってから、PTTボタンを押して話し始めてください。

※ 呼出音は、送信側と受信側の両方で鳴ります。

### スキャン機能について

△または▽ボタンを2秒間以上押し続けるとスキャンが始まり、自動的に交信中のチャンネルを探します。電波を受信するとスキャンが停止し(チャンネル表示は点滅)、その電波が途切れたときは再びスキャンが始まります。スキャンを解除するにはPTTボタンを押してください。

※ もう1度△または▽ボタンを2秒間以上押し続けてもスキャンを解除できます。

※ オートコールモード中は設定できません。

※ モニター機能が設定されているときはスキャンの停止状態(受信中のチャンネル表示は点滅)となります。

※ スキャン中に、至近距離で交信中の電波を受信した場合には、送信側チャンネルの前後(隣り)のチャンネルでスキャン停止することがあります。

### ディスプレイの照明について(自動点灯)

PTTボタン以外や電源ボタンを押すたびに、ディスプレイの照明が点灯します。(約3秒間)

解除するには

1. 電源を切ってから、MONIボタンを押しながら電源を入れる

※ 点灯させるときは、電源を切り、もう1度MONIボタンを押しながら、電源を入れます。

### APO(オートパワーオフ)機能について

ボタンの操作や受信が1時間以上ない場合は、電源が自動的に切れます。電源が切れる約30秒前は「ビビビ」と3回鳴ります。

解除するには

1. 電源を切ってから、PTTボタンを押しながら電源を入れる

・「ビツ」と鳴り、APO表示(■)が消滅します。

※ APO機能を設定するときは、電源を切り、もう1度PTTボタンを押しながら電源を入れます。

### 送信終了音について

相手に送信が終わったことを知らせる「ビー」という送信終了音を鳴らすことができます。(お買い上げの際は、鳴らないように設定されています。)

1. 電源を切ってから、▽ボタンを押しながら電源を入れる

・「ビビツ」と鳴り、送信終了音が鳴るようになります。

※ 鳴らないようにするときは、電源を切り、もう1度▽ボタンを押しながら、電源を入れます。

※ 送信終了音は、送信側と受信側の両方で鳴ります。

### 交信距離について

電波の届く距離は、周囲の状況により大きく異なります。

- ・スキー場などの開けた地形では ..... 約2km～3km
- ・郊外では ..... 約1km～2.5km
- ・高速道路では ..... 約500m～800m
- ・市街地では ..... 約100m～300m

### リセット機能について

△と▽ボタンを同時に押ししながら電源を入ると、初期設定に戻ります。

#### ■初期設定

機能	設定
チャンネル	■1ch
チームモード	OFF
オートコールモード	OFF
APO(オートパワーオフ)	ON
DXモード	OFF
ロングセーブモード	OFF
モニター	OFF
キーロック	OFF
確認音	ON
ディスプレイ照明	ON
送信終了音	OFF